

NEC 経営戦略説明会 用語解説（プレゼン資料記載順）

NGN:Next Generation Network の略

一般的には、「IP技術をベースとした通信・サービス事業者の次世代ネットワーク」とされているが、既存の電話網を、IP技術を活用した新たなネットワークに置き換えるということにとどまらず、企業のビジネスモデルの変革や新たな融合サービスを実現すると同時に、より便利で快適な個人の生活を実現するものである。

NGNによるこうした変革は、ITとネットワーク両方の技術力を強みとするNECにとって、大きなビジネスチャンスであり、NECでは、NGNに関する以下のようなビジネス領域において、NECが有するIT・ネットワーク技術力を強みとしたさまざまな製品・サービスを提供している。

・トランスポート:

高速・大容量・大規模で安全安心な次世代ネットワークを構成する

・サービスプラットフォーム:

トランスポートと連携して課金や認証などの社会インフラ機能を担う

・サービスアプリケーション:

NGNを活用した新たなサービスを実現する

・企業ICTシステム:

各企業におけるNGNへの対応や競争力強化を実現する

・各種端末:

NGNによる新たなサービスを快適に利用できる

FMC:Fixed Mobile Convergence の略

固定電話と移動通信を密接に連携させる技術や、それを用いたサービスのこと。携帯電話を家庭の電話の子機として利用したり、1台の携帯電話で社内外のどこでも連絡がつくようになったりするなど、新たなサービスやユーザメリットの提供が可能となる。

ICT:Information and Communication Technology の略

情報通信技術。情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称として用いられるが、特にITとネットワークを融合する技術や、それによってもたらされる新たなサービスや価値に注目が集まっている。

NECでは、これまでITとネットワーク両方の技術力を培ってきており、NECならではの強みが発揮できる領域ととらえている。

WiMAX: Worldwide Interoperability for Microwave Access の略

無線通信の標準規格。約50kmの距離をカバーし、最大で70Mbpsの通信が可能。屋外での広域無線通信の手段として、人口密度の低い地域でも安価にブロードバンド接続サービスの提供を可能とする技術として注目を集めている。

EMMA: NECエレクトロニクスのデジタル家電向けシステムLSI

NECエレクトロニクスのデジタルAV機器向けシステムLSI製品群。特にセットトップボックス、デジタルTV、DVDレコーダといったデジタルAV機器に対して、MPEG信号処理を強みとした高品質で多彩な機能を提供する。

ASIC: Application Specific Integrated Circuit (特定用途向け集積回路) の略

ある特定の用途のために設計、製造される集積回路のこと。

SoC: System on a Chip の略

マイクロプロセッサやメモリなどのコンピュータの主要機能を1つのチップに集積したものの。コンピュータ機能を組み込んだ機器の小型化・低消費電力化などを可能とする。

QoS: Quality of Service の略

特定用途の通信のための帯域を確保することで、一定の通信速度やサービス品質を保証する技術。ネットワークを介した動画のリアルタイム配信やテレビ電話などの通信の遅延や停止が許されないサービスの提供や、通信量が増えた場合でも緊急通報の保証などを可能とするための重要な技術。

CDN: Contents Delivery Network の略

映像・音声など、大容量なデジタルコンテンツを利用者にスムーズに配信するために最適化されたネットワークのこと。コンテンツ管理や課金・認証など、デジタルコンテンツの配布や販売に必要な機能を含めたシステム全体のことを指す場合もある。

IMS: IP Multimedia Subsystem の略

固定網や移動体通信、放送などで提供されているサービスをIP技術で融合し、新たなマルチメディアサービスを実現するための仕様。主な例として、携帯電話をトランシーバのように同時に複数の人と音声通話ができるプッシュトークや、利用者がいる場所や現在の状況に応じたサービスを提供するプレゼンス機能などのほか、スケジューラやクレジットカード決済などのデータベース機能やセキュリティ機能が統合されたサービスが挙げられる。現在、日本だけでなく、欧州などの主要な移動体通信サービス事業者がIMS基盤のフィールド評価に取り組んでいる。

NECでは、昨年11月にIMS商用サービスとしては世界に先駆けてサービス提供を開始したNTTドコモのプッシュトーク向けIMS基盤の構築に参画した。

RNC: Radio Network Controller の略

基地局制御装置。無線管理、移動管理、呼制御、監視制御、保守運用管理などの機能をもつ。BSC(Base Station Controller)、BCE(Base station Control Equipment)とも呼ばれる。

3GRAN LTE: 3G Radio Access Network Long Term Evolution の略

数十～100Mbpsの高速なデータ伝送を可能とする移動体通信システムで、2010年頃の実用化を目指して研究開発が進められている。スーパー3Gやウルトラ3Gなどとも言われる。

ROADM: Reconfigurable Optical Add/Drop Multiplexer の略

遠隔波長制御可能な波長多重化装置。

NECでは、NGN対応製品として、伝送速度40Gbps、最大多重波長数80波を実現したROADM「SpectralWave DW4200 シリーズ」を開発し、販売活動を展開している。

RBM: Ring Back Melody の略

電話の発信者に対して着信者が好みの曲・メッセージを聞かせるサービス。

ATCAサーバ:Advanced Telecom Computing Architecture の略

PICMG (PCI Industrial Computer Manufacturers Group)が策定した通信事業者向けの次世代通信機器の業界標準規格。

NECでは、通信処理の瞬時切り替えなどの交換機のノウハウを継承したミドルウェアや、サーバ全体でトータルな管理を行うことで経済性・運用管理性・信頼性を実現するミドルウェア、シェアNo. 1のExpressサーバなどで培ったボード型ハードウェアの開発技術力など、NECの強みを結集したATCAサーバを提供する。

GMPLS: Generalized Multi-Protocol Label Switching の略

光ネットワーク上でデータを送信する際に、最適な経路を選択して通信するための技術。

パソリンク:NECの簡易型マイクロ波通信システム

携帯電話市場の急速な成長にともない、携帯電話網の基地局間を結ぶ通信システムとして、アジアや欧州を中心に簡易型マイクロ波通信システムの市場が大きく拡大している。NECのパソリンクは、すでに海外での累計出荷台数が110ヶ国35万台に達しており、グローバルでトップクラスのシェアを有している。

NEMIP:NECのモバイルインターネットプラットフォーム

メール、Web ポータル、着メロなどのマルチメディアサービスを実現する、携帯電話事業者やサービスプロバイダ向けのプラットフォーム。9ヶ国への納入実績を有している。

xSP: サービス提供事業者

主にアウトソーシング的なサービスを提供する事業者 (Service Provider) のこと。ISP (Internet SP)、ASP (Application SP)、SSP (Security SP) など。

UNIVERGE: NECのIT・ネットワーク技術を統合した製品やソリューション

企業のワークスタイル変革や生産性向上、マネジメント改革などを実現するIT・ネットワーク融合製品またはソリューションのこと。例えば、「UNIVERGE “FOMA®” 連携ソリューション」では、1台の携帯電話で社内外のどこにいても通話ができるなど、「NGNレディー」なオフィス環境を実現することができる。

グリッド(コンピューティング): ネットワーク上のコンピュータを連携させる技術

ネットワーク上に散在するコンピュータやストレージなどを連携させる技術。仮想的な超大型コンピュータとしての利用や、分散するIT資産の最適化などを可能とする。

NECでは、サーバ・ネットワーク・ストレージを一体化した「シグマフレーム」と統合管理ミドルウェア「SigmaSystemCenter」から構成される「シグマグリッド」を提供している。

CRM: Customer Relationship Management の略

ICTを活用して、顧客に対するきめ細かな対応を実現すること。顧客情報をデータベース化し、問い合わせ対応から、商品の販売、保守サービスの提供までを一貫して管理することで、顧客満足度の向上を図る。

NECでは、ぷららネットワークス、オムロン中国などのコンタクトセンター導入実績を有している。

SCM: Supply Chain Management の略

ICTを活用して、原材料の調達から製造、流通、販売までの一連の流れを管理して、サプライチェーン全体の動きを見ながら、経営判断の迅速化を図る。

NECでは、明治乳業、アサヒビール、江崎グリコなどのシステム構築実績を有している。

RFID: Radio Frequency Identification の略

非接触型の無線チップを埋め込んだタグによって、生産履歴や価格情報などを識別／管理する仕組み。

NECでは、総務省の飛騨牛トレーサビリティ実証実験に参画したほか、岩木山りんご生産出荷組合、上海婦人用品商店、筑穂町立ちくほ図書館などのシステム構築実績を有している。また、NEC自身もRFIDを活用したパソコン生産のリアルタイムマネジメントを推進している

※資料に掲載されている各社の製品・サービスなどは、各社の商標または登録商標。